

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋(市場第1部)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shiroki.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)



主要コンテンツ

1. 会社案内
2. 製品紹介
3. IR情報・ニュースリリース

当社の最新情報はホームページをご覧ください。

2011 BUSINESS REPORT

第95期中間報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第95期上半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災以降停滞していた生産活動は回復に向かい、景気の持ち直しの動きが見られました。また、復興需要から今年後半には緩やかな回復が期待されていましたが、世界的な金融市場の混乱から海外経済の減速、円高の長期化などにより先行き不透明感が強まっております。

このような状況の中、自動車業界におきましても、東日本大震災の影響によりサプライチェーンが寸断され、各得意先自動車メーカーの生産休止、生産調整により大幅な減産となりました。しかしながら、その後のサプライチェーンの順調な回復により6月にはほぼ生産は回復し、8月には得意先自動車メーカー大手8社の国内生産は、震災による生産台数減の挽回もあり、11ヶ月ぶりに前年実績を上回りました。

この結果、当中間期の業績につきましては、売上高は500億19百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は18億25百万円（前年同期比50.8%減）、経常利益は16億1百万円（前年同期比50.7%減）、中間純利益は5億23百万円（前年同期比74.0%減）となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき2円とさせていただきますため、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

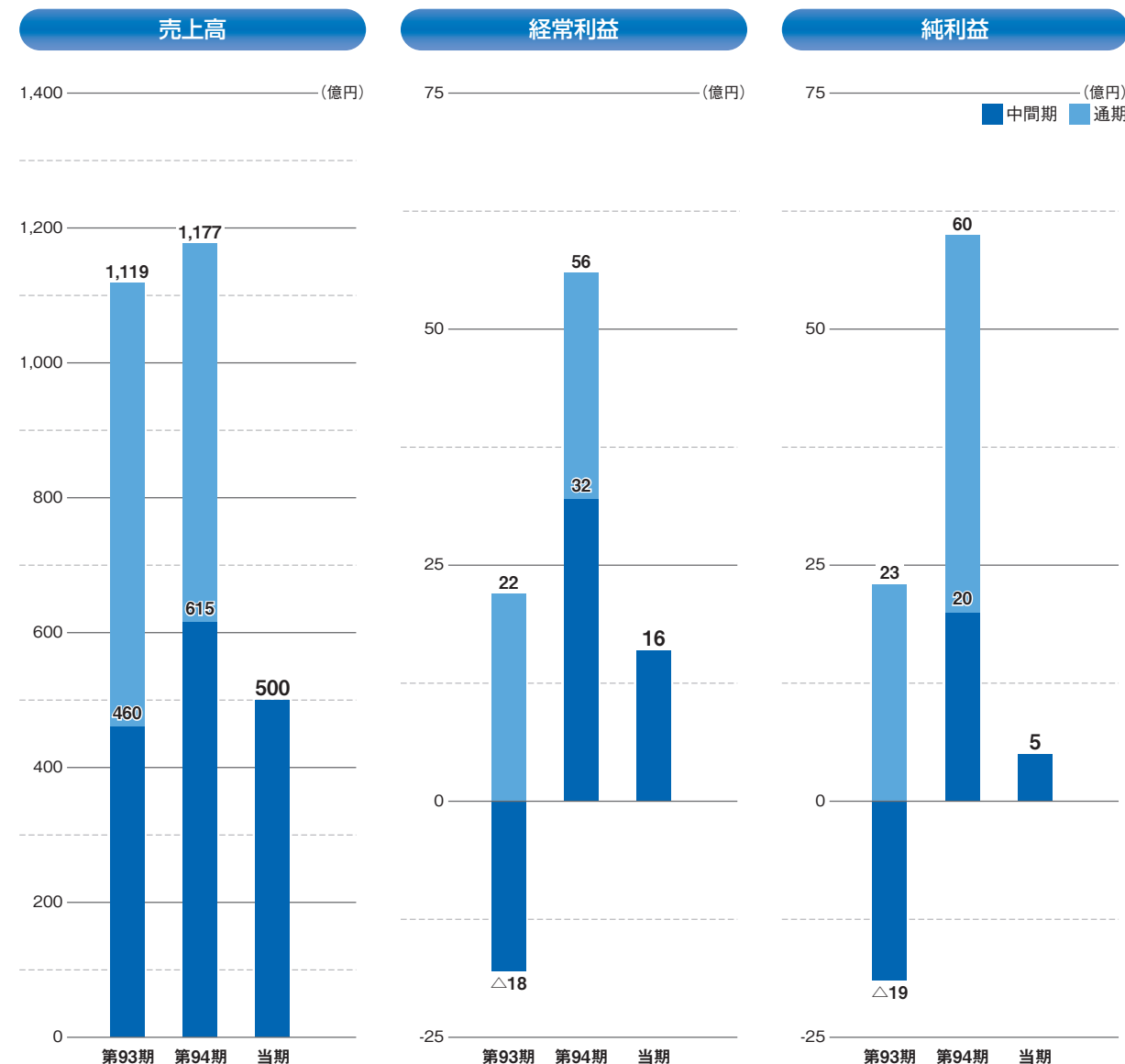
平成23年11月



取締役社長

松井拓夫

主要連結財務指標



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

	当中間期 (平成23年9月30日)	前 期 (平成23年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	382	424
固定資産	315	326
有形固定資産	253	265
無形固定資産	2	2
投資その他の資産	59	58
資産合計	698	751

(単位：億円)

	当中間期 (平成23年9月30日)	前 期 (平成23年3月31日)
【負債の部】		
流動負債	242	387
(短期借入金)	(ー)	(3)
(1年内返済予定の長期借入金)	(1)	(143)
固定負債	130	42
(長期借入金)	(107)	(18)
負債合計	373	429
【純資産の部】		
株主資本	337	335
その他の包括利益累計額	△14	△15
少数株主持分	2	1
純資産合計	325	321
負債純資産合計	698	751

連結損益及び包括利益計算書

	当中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	500	615
営業利益	18	37
営業外収益	2	1
営業外費用	5	6
経常利益	16	32
特別利益	0	0
特別損失	7	6
税金等調整前中間純利益	8	25
中間純利益	5	20
少数株主利益	0	0
少数株主損益調整前中間純利益	5	20
その他の包括利益	1	△1
包括利益	6	18

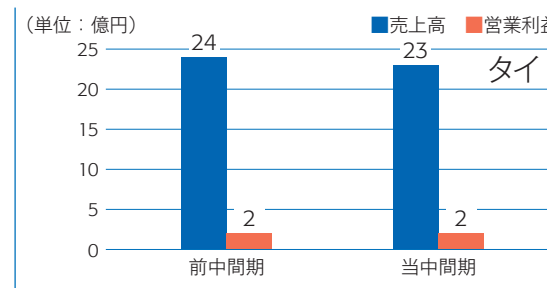
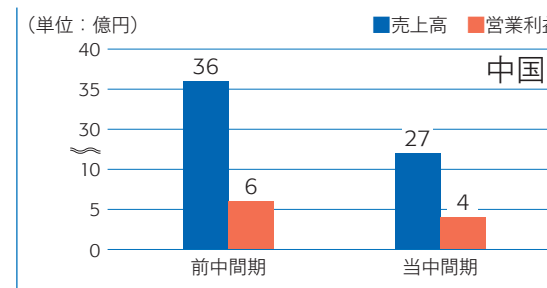
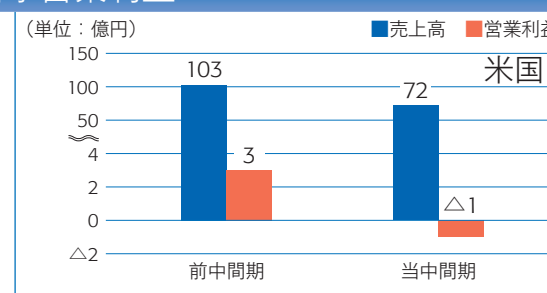
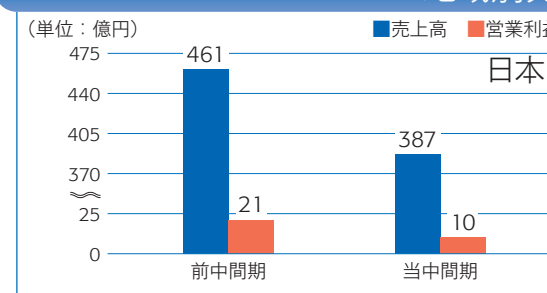
(注) △は損失を示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

	当中間期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	17	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59	△2
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△37	41
現金及び現金同等物の期首残高	137	75
現金及び現金同等物の中間期末残高	100	117

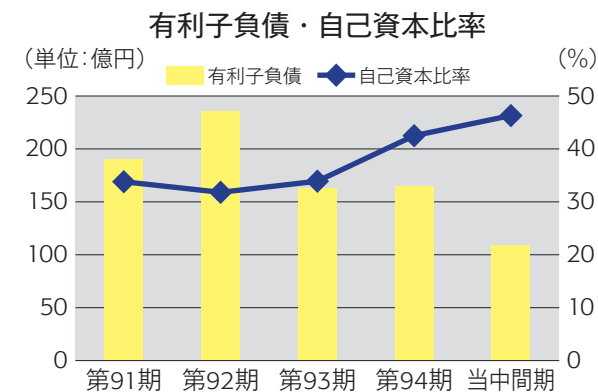
セグメント別業績状況

地域別売上高・営業利益

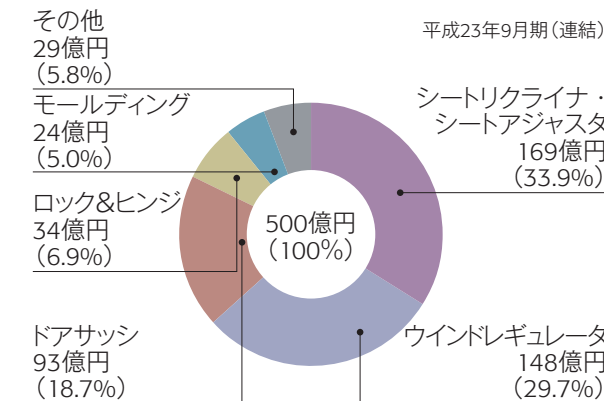


(注) 内部売上高控除前の数字であります。

財務ハイライト



製品別売上高



シロキ工業 検索

より詳細な財務情報は、当社ホームページに掲載している決算短信をご覧ください。

トピックス

インドネシアに新工場建設

当社は本年8月、インドネシア・ブカシ県に、得意先自動車メーカーの現地生産拡大に対応するため、現地生産子会社「PT. SHIROKI INDONESIA」を設立いたしました。資本金250万米ドルの全額出資で、2012年後半操業開始を目指します。自動車市場が成長する同国では初の生産拠点で、ウインドレギュレータやシート部品などを生産し、現地の得意先自動車メーカーに納入いたします。



■中日新聞7月28日付

マルチスズキ（インド）向けウインドレギュレータ納入開始

本年7月、当社が27%出資しているインドのテクノインダストリーズ(株)（以下、テクノコ社）で、現地マルチスズキのスイフト向けウインドレギュレータの量産が始まりました。今回のスイフトは、当社のテクノコ社への3車種目の本格的な技術支援車種で、急速に拡大するインド市場でのビジネス拡大に期待がかかります。



■テクノインダストリーズ(株)

名証「IRエキスポ2011」に出展

本年7月、名古屋市・吹上ホールで開催された名証「IRエキスポ2011」（名古屋証券取引所主催）に昨年に続き今年も出展いたしました。4回目の出展となる今回は、映像やパネルなどを使用して会社概要や業績などを投資家の皆さんにアピールした他、アルミドアサッシの展示も行い、当社のドアサッシや軽量化の取り組みについて実演説明を行いました。出展の継続などにより、投資家の皆さんに当社への理解をより深めていただくことに努めてまいります。



■当社出展ブース

当社のグローバルネットワーク



●は生産拠点を示しております。

会社概要（平成23年9月30日現在）

- 設立 昭和21年3月
- 国内拠点 本社…愛知県豊川市
工場…藤沢工場（神奈川県）
豊川工場・名古屋工場（愛知県）
大阪工場（大阪府）

●大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	17,629	19.81
東京急行電鉄株式会社	11,644	13.08
アイシン精機株式会社	11,254	12.64
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,559	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,344	2.63
株式会社豊栄商会	2,263	2.54
シロキ工業持株協力会	2,173	2.44
日本生命保険相互会社	1,920	2.16
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,400	1.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,280	1.44

●役員状況

代表取締役社長	松井拓夫	取締役	八代昭彦
代表取締役専務	杉山森夫	取締役	西崎元信
代表取締役専務	後藤和行	取締役	江口恒明
専務取締役	田家猛好	取締役	美濃島章
専務取締役	大石勝美	取締役	越村敏昭
常務取締役	小橋賢司	常勤監査役	古川俊雄
常務取締役	森田隆信	常勤監査役	大橋敦志
常務取締役	河本正	監査役	増井敬二
取締役	坂部威夫	監査役	伊藤慎太郎
取締役	堤泰久		

- (注) 1. 取締役のうち、越村敏昭氏は社外取締役であります。
 2. 監査役のうち、古川俊雄、増井敬二、伊藤慎太郎の各氏は、社外監査役であります。
 3. 当社は、監査役古川俊雄氏を(株)東京証券取引所および(株)名古屋証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。